

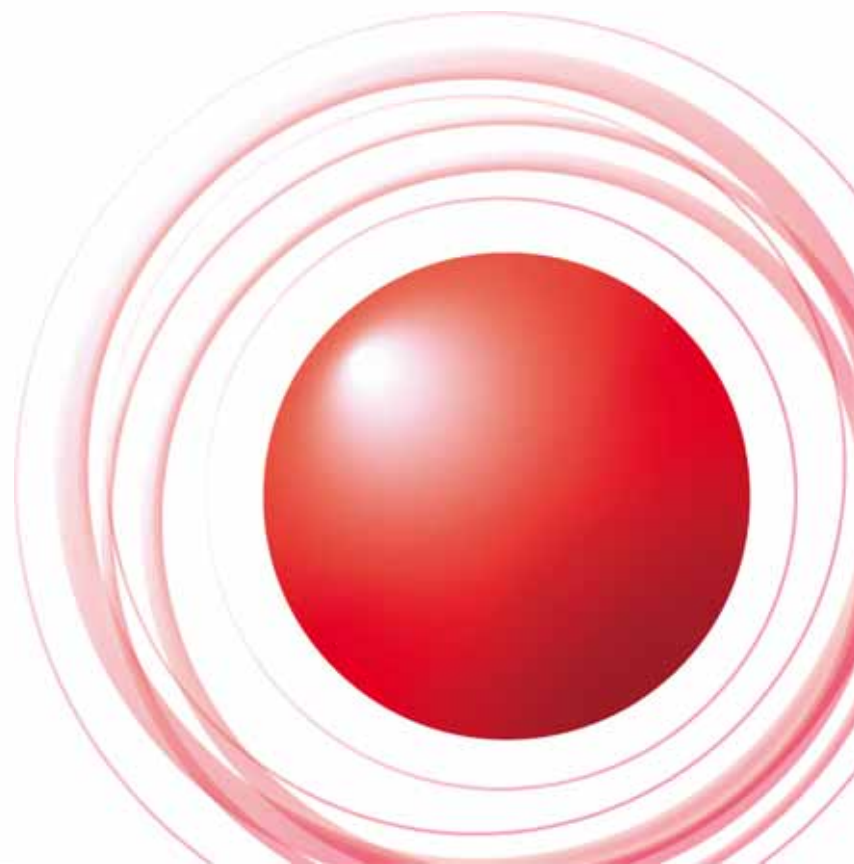
平成22年3月期 決算短信（米国会計基準）
（別紙）参考資料：「2010年3月期（平成22年3月期）連結業績説明会資料」

2010年3月期 連結業績説明会



株式会社インターネットイニシアティブ（証券コード:3774）
2010年5月14日

Ongoing Innovation



アジェンダ

- ・ **2010年3月期 総括**

- ・ **2010年3月期 連結業績**

- ・ **2011年3月期 連結業績見通し**

- ・ **ご参考資料**

2010年3月期 総括

2010年3月期 実績

・営業収益(売上高)	68,006百万円	(前年度比 2.5% 減)
・営業利益	3,412百万円	(前年度比 16.9% 増)
・税引前当期純利益	2,859百万円	(前年度比 40.5% 増)
・当社株主に帰属する当期純利益	2,234百万円	(前年度比 57.4% 増)

- **接続・アウトソース売上は前年度比5.4%増、SI売上は前年度比10.6%減**
 - 接続売上はモバイルサービス契約増等により継続増加。Gbps超の契約数は125件(前期末比+31件)へ増加
 - SI構築売上は企業の投資抑制影響により前年度比22.5%減少、足元の受注環境は徐々に回復傾向
- **接続・アウトソーシング及びSI事業(既存事業)の営業利益は前年度比22.0%増益**
 - 接続・アウトソーシング売上の継続伸張・コストコントロールにより、引き続き増益基調
 - 粗利率は21.7%(前年度比 1.6ポイント向上)、営業利益率は6.5%(前年度比 1.3ポイント向上)
- **ATM運営事業は継続立ち上げ中**
 - 2010年3月期末ATM設置台数136台、営業損失1,000百万円(前年度 営業損失は 698百万円)
- **100%SI子会社を吸収合併しグループ体制再編(4月1日付)**
 - IJテクノロジー・IJフィナンシャルシステムズを吸収合併、グループ経営基盤を強化
- **クラウドコンピューティングサービス「IJ GIO」提供本格化
モジュール型エコ・データセンター建設(2011年2月稼働計画)によりコスト競争力向上**
 - IJ GIOは600件を超える引き合い、順次受注・稼働開始
 - 外気冷却モジュール活用によりDCファシリティコストを大幅削減、「IJ GIO」のサービス提供規模拡大に併せ順次増設
- **2011年3月期通期見通しは増収増益を展望**
 - 売上高 71,000百万円(FY09比 4.4%増)、営業利益 4,300百万円(FY09比 26.0%増)を見通し
- **2010年3月期 期末配当を1,000円より1,250円へ増配予定**
 - 2011年3月期 年間配当は2,500円(中間配当1,250円、期末配当1,250円)を予定

-1. 2010年3月期 連結実績サマリー

単位:億円

	売上比 FY09 (09/4 ~ 10/03)	売上比 FY08 (08/4 ~ 09/03)	前年度比
営業収益 (売上高)	680.1	697.3	2.5%
売上原価	79.5% 540.5	80.5% 561.5	3.7%
売上総利益	20.5% 139.6	19.5% 135.9	2.7%
販売管理費等	15.5% 105.4	15.3% 106.7	1.2%
営業利益	5.0% 34.1	4.2% 29.2	16.9%
税引前当期純利益	4.2% 28.6	2.9% 20.3	40.5%
当社株主に帰属する 当期純利益	3.3% 22.3	2.0% 14.2	57.4%

- ▶ 接続・アウトソース売上は前年度比5.4%増加
- ▶ 景気影響等によりSI売上は前年度比10.6%減少

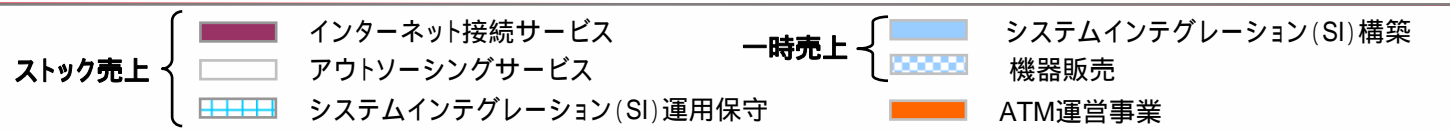
- ▶ コストコントロール継続注力
- ▶ SI構築売上減により仕入、外注費減少

- ▶ 売上減少するも売上総利益・総利益率増加

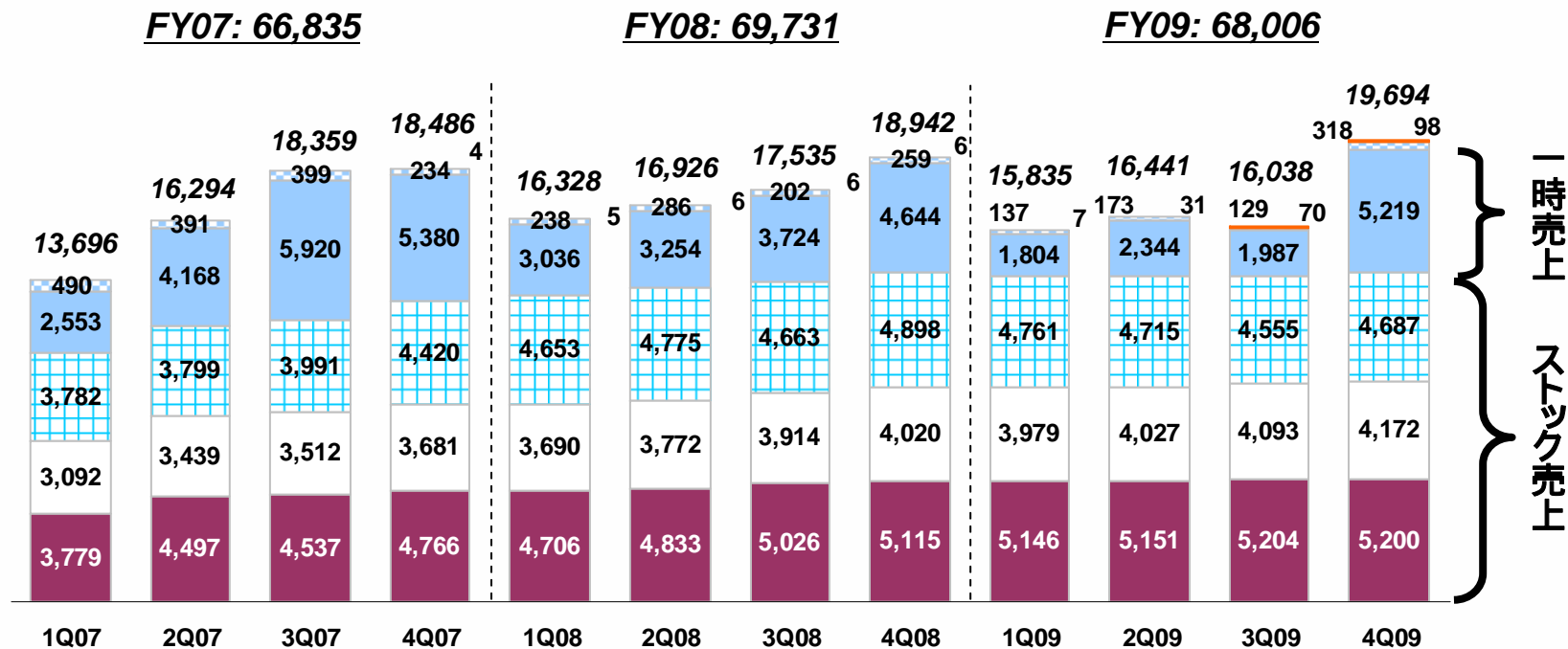
- ▶ コストコントロールにより一般管理費減少

- ▶ 営業利益16.9%増益、営業利益率0.8ポイント改善
- ▶ ATM運営事業営業損失
FY09 : 1,000百万円
FY08 : 698百万円

-2. 営業収益(売上高)の推移



単位: 百万円

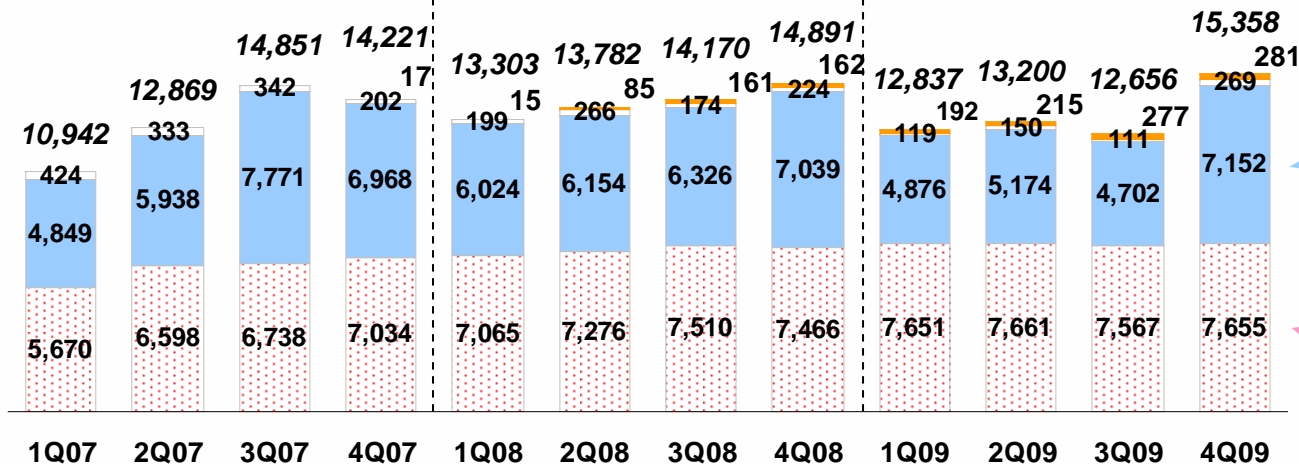
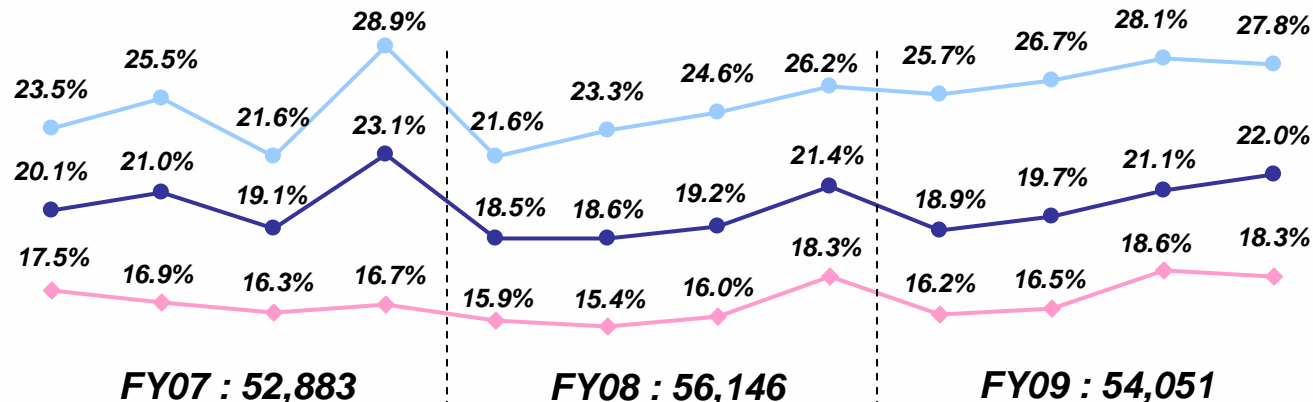


- ◆ **ストック売上**: FY09 55,690百万円 (FY08比 3.0%増)、4Q09 14,059百万円 (4Q08比 0.2%増・3Q09比 1.5%増)
 - インターネット接続サービス: FY09 20,701百万円 (FY08比 5.2%増)、4Q09 4Q08比 1.7%増・3Q09比 0.1%減
 - アウトソーシングサービス: FY09 16,271百万円 (FY08比 5.7%増)、4Q09 4Q08比 3.8%増・3Q09比 1.9%増
 - SI運用保守: FY09 18,717百万円 (FY08比 1.4%減)、4Q09 4Q08比 4.3%減・3Q09比 2.9%増
- ◆ **一時売上**: FY09 12,110百万円 (FY08比 22.6%減)、4Q09 5,536百万円 (4Q08比 12.9%増・3Q09比 161.6%増)
 - SI構築: FY09 11,354百万円 (FY08比 22.5%減)、4Q09 4Q08比 12.4%増・3Q09比 162.6%増
- ◆ **ATM運営事業売上**: FY09 207百万円 (FY08比 183百万円増)、4Q09 4Q08比 92百万円増・3Q09比 28百万円増

-3. 売上原価・売上総利益率の推移

売上原価 インターネット接続及びアウトソーシングサービス システムインテグレーション 機器販売 ATM運営事業
売上総利益率 インターネット接続及びアウトソーシングサービス システムインテグレーション 全体売上総利益率

単位: 百万円

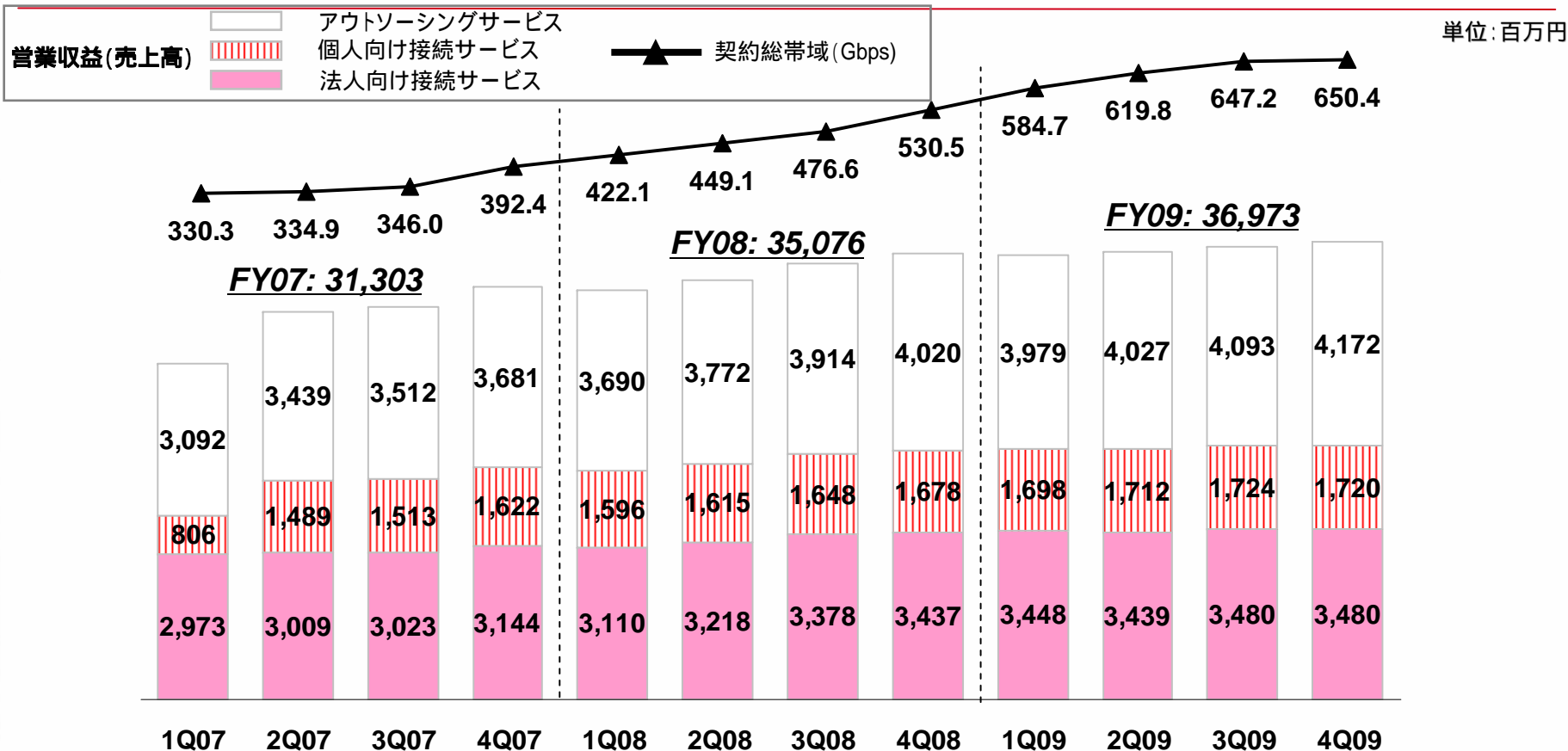


システムインテグレーション売上原価
仕入、外注関連、設備関連、
人件関連費用 等

**インターネット接続及び
アウトソーシングサービス売上原価**
バックボーン等回線関連、
ネットワーク等設備関連、
外注関連、人件関連費用 等

- ◆ **インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価**：FY09 30,534百万円 (FY08比 4.1%増)、4Q09 4Q08比 2.5%増・3Q09比 1.2%増
売上総利益率は、FY09 17.4%(FY08比 1.0ポイント増)、4Q09 4Q08比 横ばい推移・3Q09比 0.3ポイント減
- ◆ **システムインテグレーション原価**：FY09 21,904百万円 (FY08比 14.2%減)、4Q09 4Q08比 1.6%増・3Q09比 52.1%増
売上総利益率は、FY09 27.2%(FY08比 3.1ポイント増)、4Q09 4Q08比 1.6ポイント増・3Q09比 0.3ポイント減
- ◆ **ATM運営事業原価**：FY09 964百万円 (FY08比 542百万円増)、4Q09 4Q08比 119百万円増・3Q09比 4百万円増

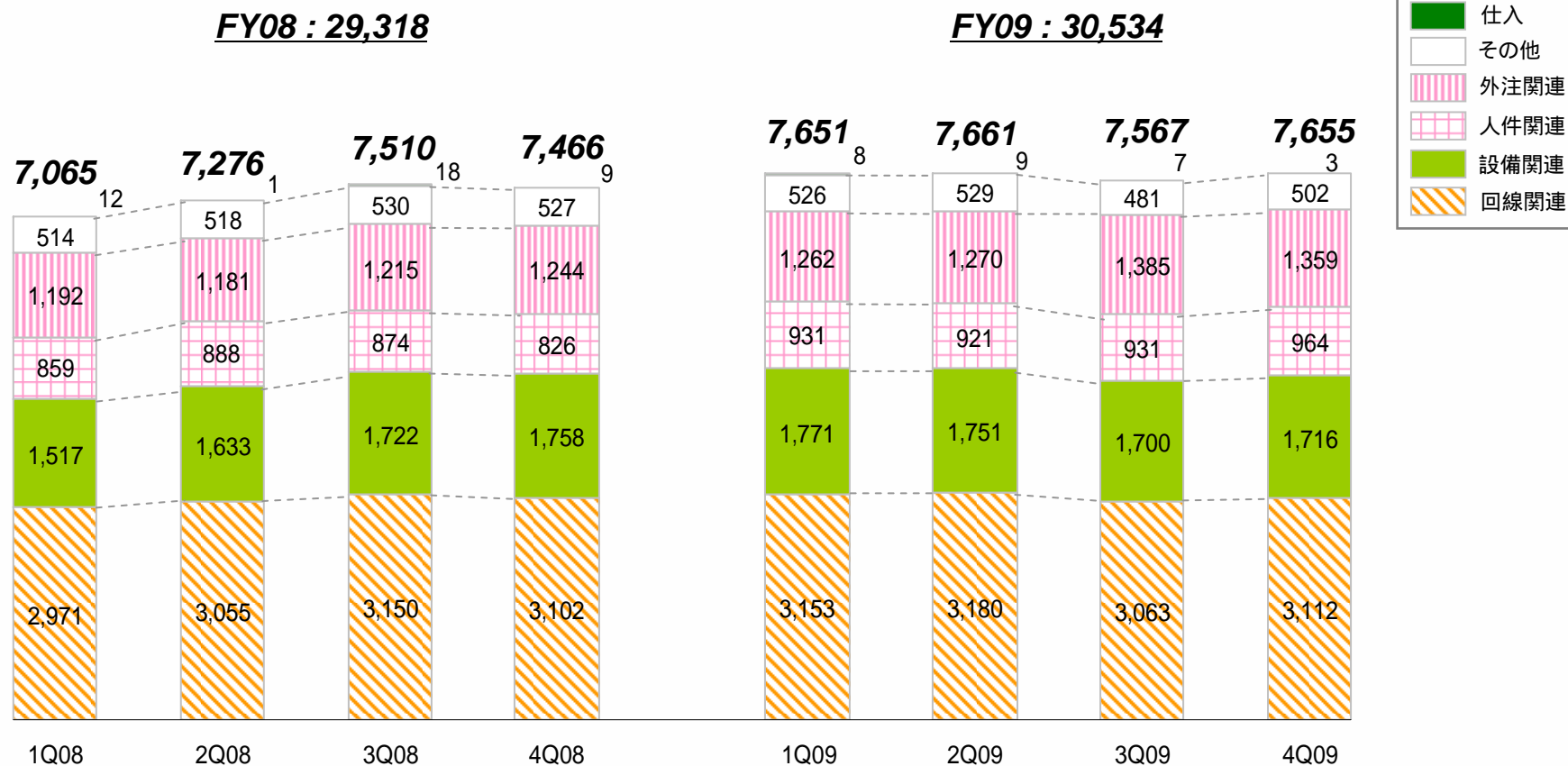
-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス 売上の推移



- ◆ **法人向け接続サービス**：FY09 13,847百万円 (FY08比 5.4%増)、4Q09 4Q08比1.3%増・3Q09比横ばい推移
 - 4Q09のIPサービス売上は従量課金売上減少により3Q09比若干減、FY09末のGbps超の契約は125件 (FY08末比+31件)
- ◆ **個人向け接続サービス**：FY09 6,854百万円 (FY08比 4.8%増)、4Q09 4Q08比 2.5%増・3Q09比 0.2%減
 - 光回線サービス増に伴う売上単価増、個人向けモバイルサービスによる売上継続増
 - ✓ モバイルサービス受注回線数は累計40,000回線超 (3Q09時より約+4,000回線)
- ◆ **アウトソーシングサービス**：FY09 16,271百万円 (FY08比 5.7%増)、4Q09 4Q08比 3.8%増・3Q09比 1.9%増
 - 迷惑メール対策の「IIJセキュアMXサービス」、Web経由のウイルス感染や情報漏洩を防ぐ「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」(2009年2月サービス開始)等各サービス売上高が各々堅調に増加

-4. インターネット接続及びアウトソーシングサービス 原価の推移

単位:百万円



- ◆ インターネット接続及びアウトソーシングサービス原価総額 :
 - FY09 FY08比 4.1%増、4Q09 4Q08比 2.5%増・3Q09比 1.2%増
 - FY08比 外注関連、設備関連、人件関連費用が増加
 - バックボーンコストはFY09 3,699百万円 (FY08比 0.2%増)
 - 4Q09 954百万円 (4Q08比 4.2%増・3Q09比 4.3%増)

-5. システムインテグレーション(SI)

売上・受注等の推移

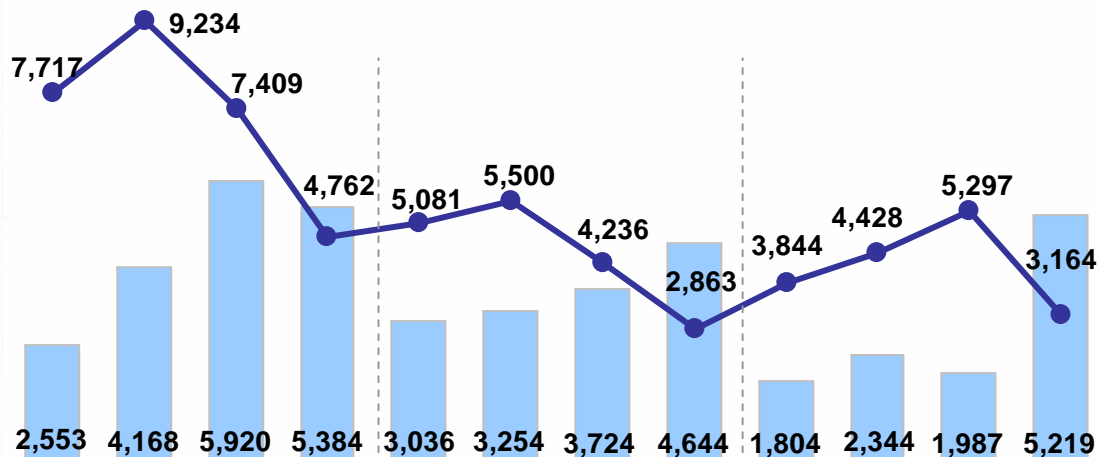
単位: 百万円

< SI 構築 >

FY07 : 18,025

FY08 : 14,659

FY09 : 11,354

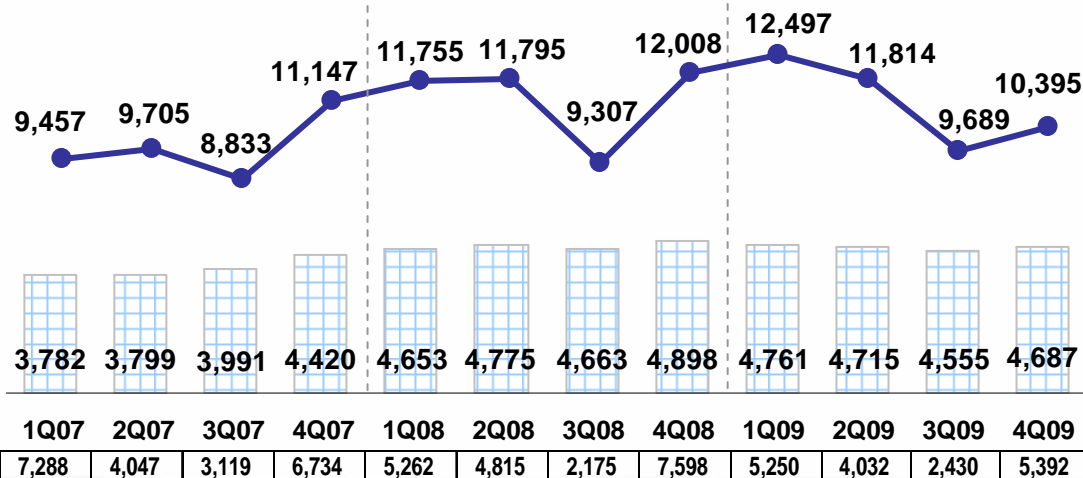


< SI 運用保守 >

FY07 : 15,993

FY08 : 18,989

FY09 : 18,717

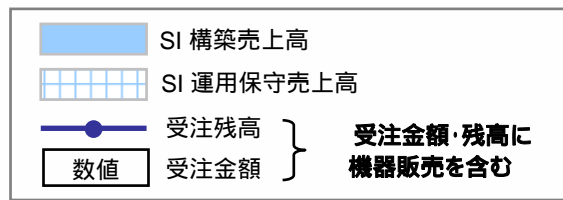


SI 構築の状況

- ◆ 売上 FY09 FY08比 22.5%減、4Q09 4Q08比 12.4%増、3Q09比 162.6%増
- ◆ 4Q09受注残高 4Q08末比 10.5%増、301百万円増 3Q09末比 40.3%減、2,133百万円減
- 4Q09売上は年度末需要増等により増加
- FY09上期に比べ数億円単位案件が徐々に発生、順次受注
- 子会社統合に伴い顧客業種・業界に合ったソリューションを強化、クラウド関連派生案件含め受注推進

SI 運用保守の状況

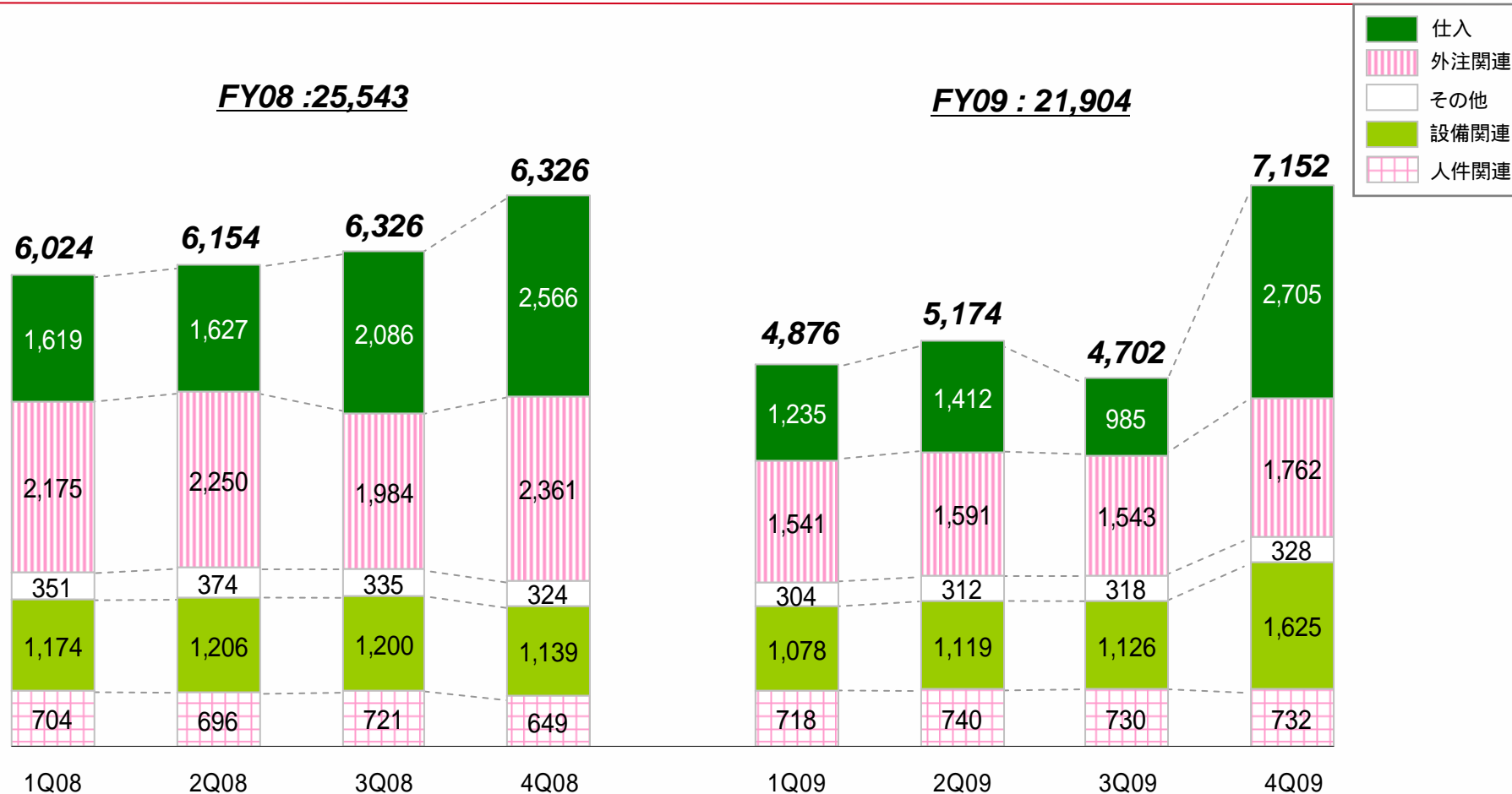
- ◆ 売上 FY09 FY08比 1.4%減 4Q09 4Q08比 4.3%減、3Q09比 2.9%増
- ◆ 4Q09受注残高 4Q08末比 13.4%減・1,613百万円減 3Q09末比 7.3%増・705百万円増
- 4Q09売上は、個別大口減額があった3Q09比では運用積み上げにより増加
- 来上期に向けては、個別減額・解約等にて弱含み



-5. システムインテグレーション (SI)

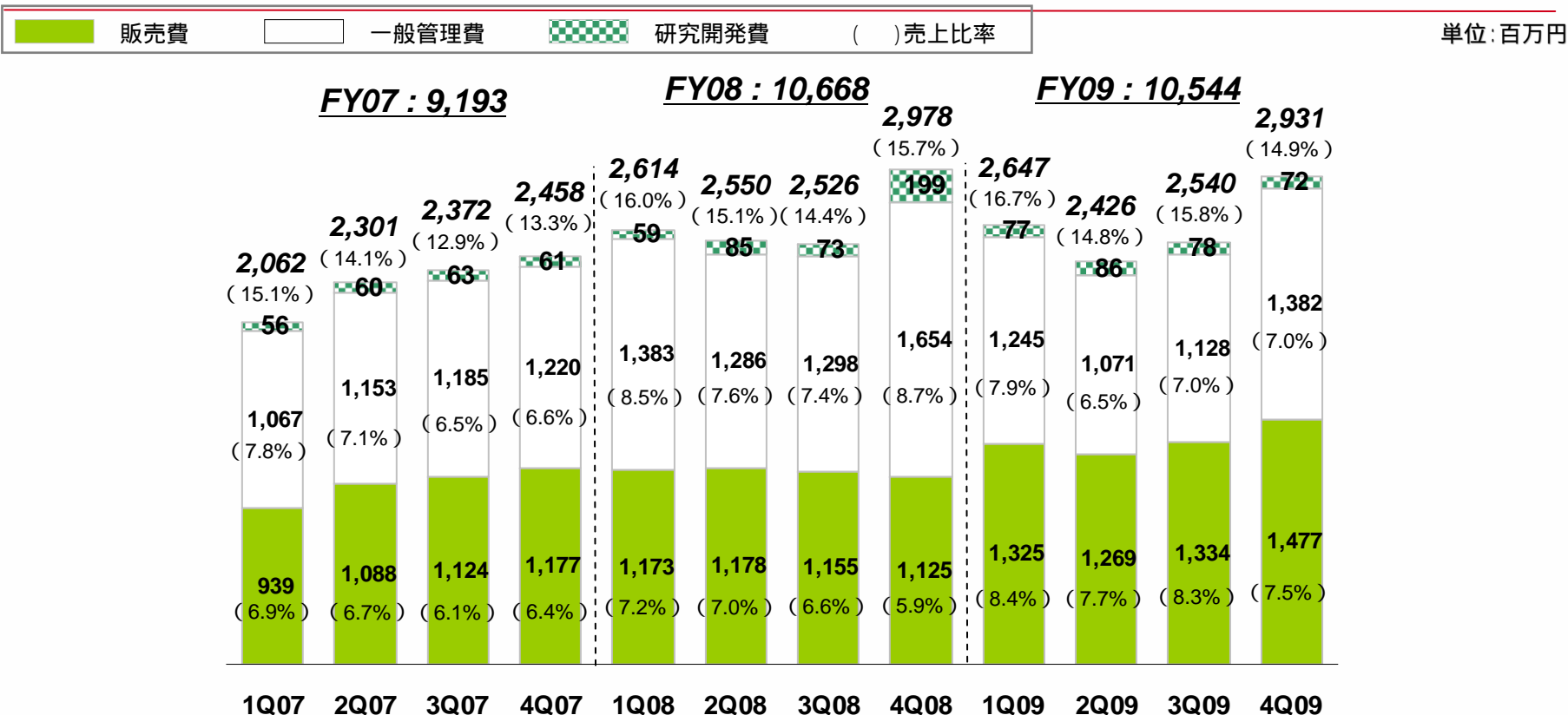
原価の推移

単位: 百万円



- ◆ SI 原価総額 : FY09 FY08比 14.2%減、4Q09 4Q08比 1.6%増・3Q09比 52.1%増
 - FY09 FY08比 常駐外注人員削減による外注関連費用の減少、SI構築売上減に伴う仕入の減少
 - 4Q09 3Q09比 売上増加に伴い仕入・設備関連費用・外注関連費用等が増加
 - 4Q09末常駐外注人員数は312名、4Q08末比 58名増、3Q09末比 76名増

-6. 販売管理費・研究開発費の推移



◆ 販売費・一般管理費・研究開発費 : FY09 FY08比 1.2%減、4Q09 4Q08比 1.6%減・3Q09比 15.4%増

➢ 販売費 : FY09 5,405百万円(FY08比 16.7%増)、4Q09 4Q08比 31.4%増・3Q09比 10.7%増

FY09 : FY08比、人件関連費用、業務システム(3Q09より稼動)に伴う減価償却費等により増加

4Q09 : 3Q09比、減価償却費、一時除却等により増加

➢ 一般管理費 : FY09 4,826百万円(FY08比 14.2%減)、4Q09 4Q08比 16.5%減・3Q09比 22.5%増

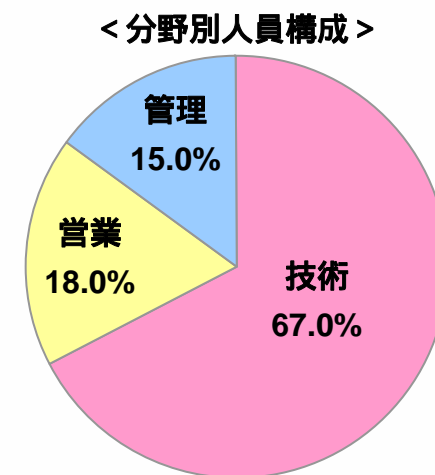
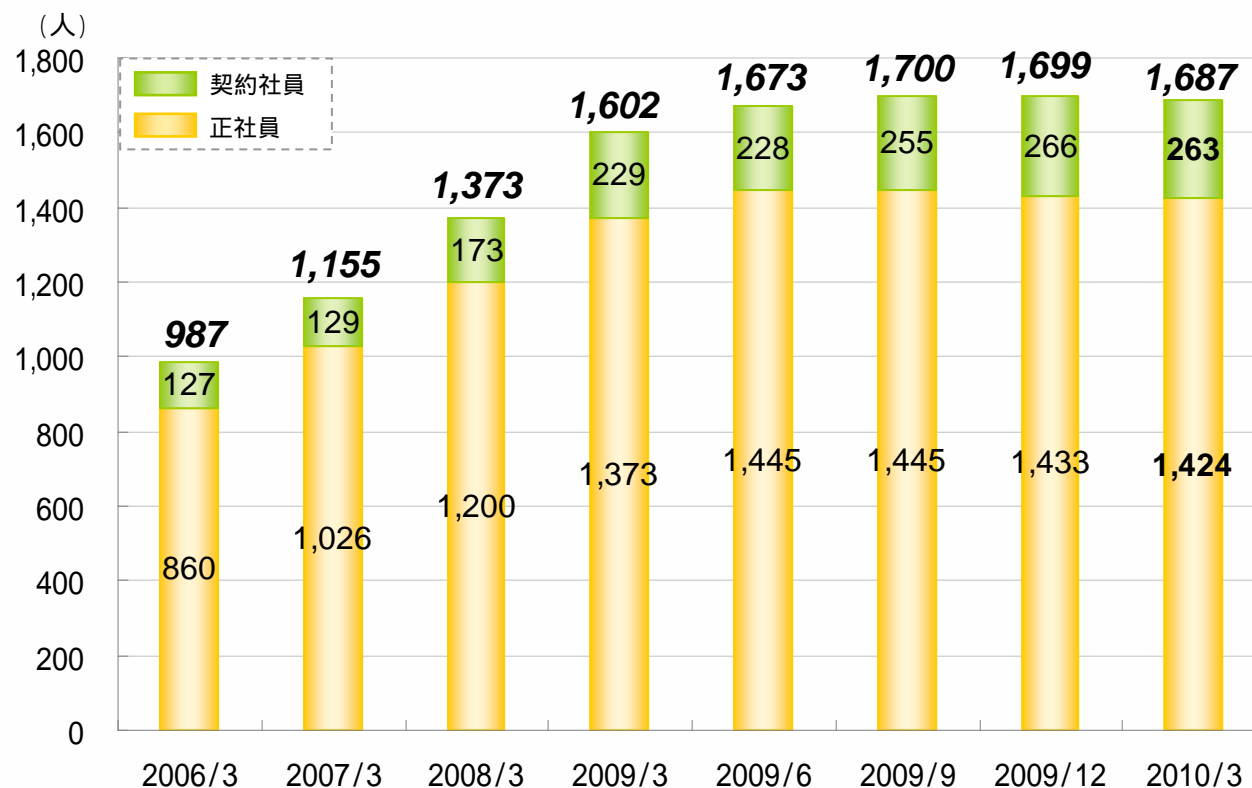
FY09 : FY08比、外注関連費用削減、資産除却減、一般経費削減等により減少

4Q09 : 3Q09比、一時除却等により増加

➢ 研究開発費 : FY09 313百万円(FY08比 24.6%減)、4Q09 4Q08比 63.7%減・3Q09比 7.3%減

➢ ATM運営事業に係る販売管理費 : FY09 243百万円、4Q09 88百万円、4Q08 78百万円、3Q09 56百万円

-7. 連結従業員数の推移



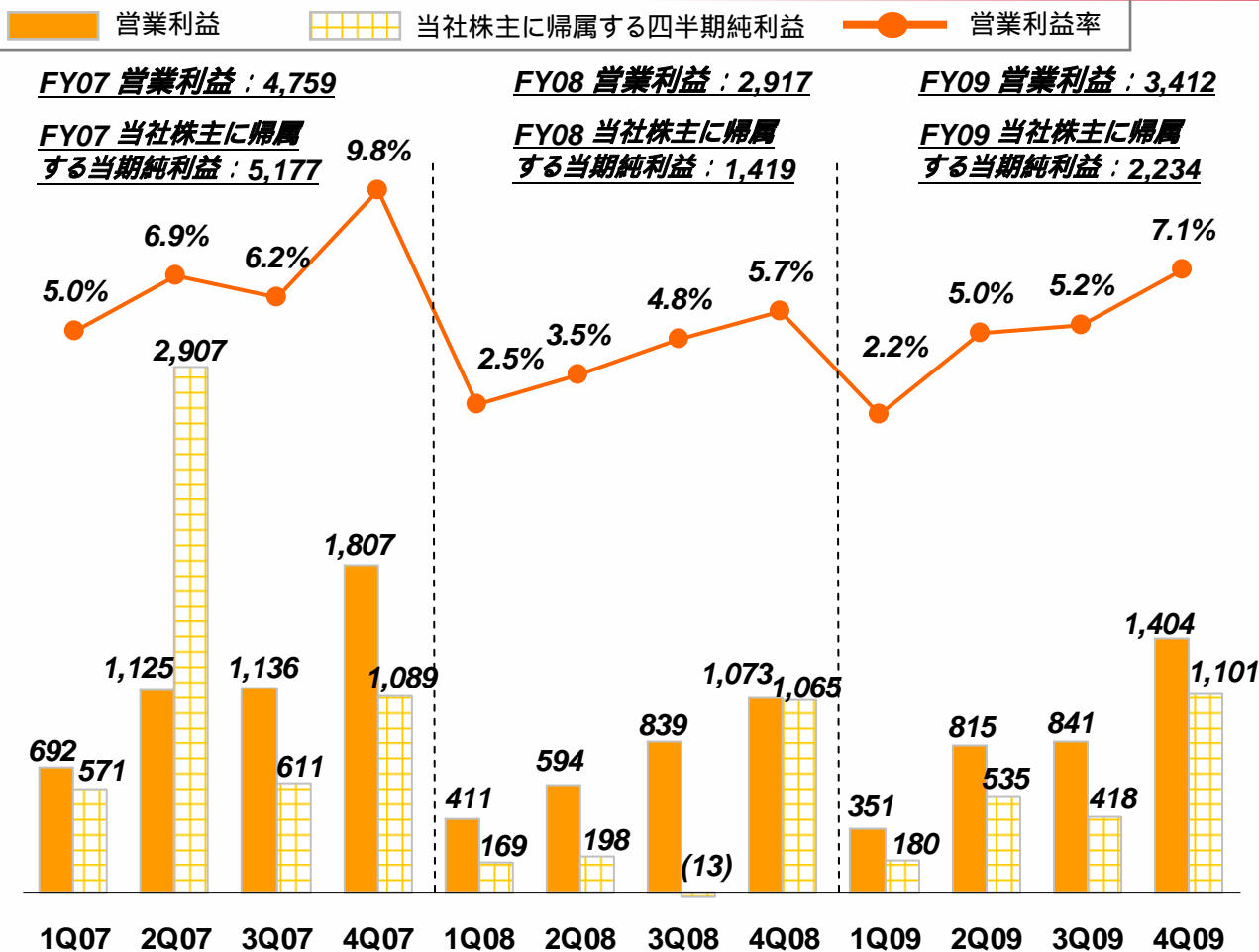
期	2009/3	2009/6	2009/9	2009/12
人件関連費用総額 (売上高比率)	2,771 (17.5%)	2,733 (16.6%)	2,728 (17.0%)	2,887 (14.7%)

単位: 百万円

- ◆ FY09末 連結従業員数は微減
 - 2010年4月入社新卒新入社員数60名(09年4月実績: 77名、08年4月実績: 92名)
- ◆ 人件関連費用: FY09 11,119百万円(FY08比 8.4%増)

-8. 営業利益・当期純利益の推移

単位: 百万円

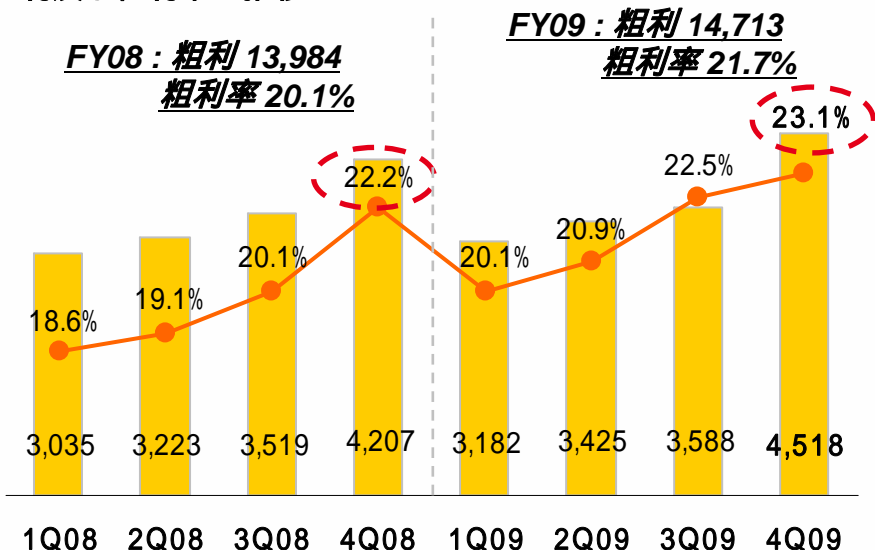


- ◆ **営業利益** : FY09 FY08比 16.9%増
4Q09 4Q08比 30.9%増・3Q09比 67.0%増
FY08比、インターネット接続及びアウトソーシングサービスに係る売上総利益の増加、一般管理費削減等により増益
3Q09比、システムインテグレーションに係る売上総利益の増加等により増益
- ◆ **税引前利益** : FY09 FY08比 40.5%増
4Q09 4Q08比 35.8%増・3Q09比 42.0%増
FY08比、投資有価証券評価損失及び支払利息の減少等により増益
4Q09にて投資有価証券評価損293百万円(純額)計上
- ◆ **当社株主に帰属する純利益** :
FY09 FY08比 57.4%増、
4Q09 4Q08比 3.4%増・3Q09比 163.4%増
 - ▶ 税効果会計による法人税等調整額:
FY09 756百万円(損)、FY08 637百万円(損)、4Q09 34百万円(益)、3Q09 418百万円(損)、4Q08 335百万円(益)
 - ▶ 持分法による投資損益:
FY09 159百万円、FY08 35百万円
 - ▶ 非支配持分に帰属する当期純損失:
GDJ Japan及びトラストネットワークスに係る損失により、FY09 348百万円、FY08 352百万円

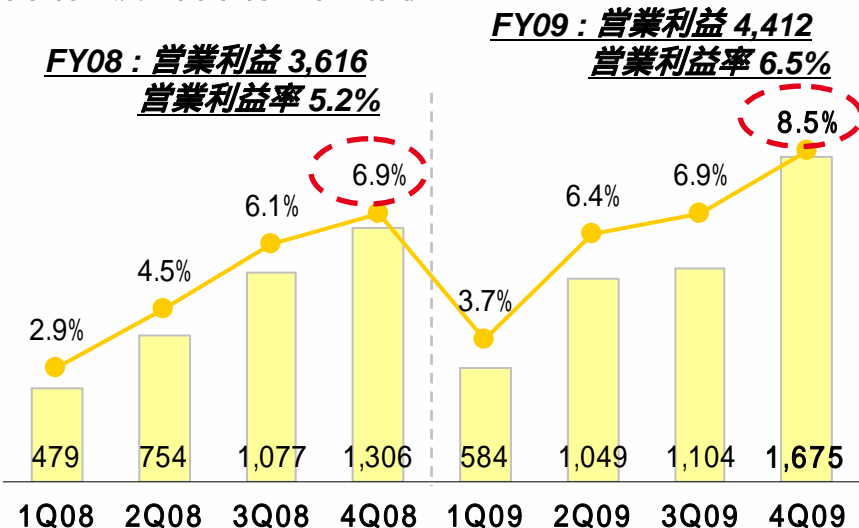
	1Q07	2Q07	3Q07	4Q07	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
法人税等	175	1,980	392	552	213	326	653	190	244	284	514	90
持分法 投資損益	20	29	42	52	18	17	44	10	32	11	85	32
非支配持分に 帰属する 四半期純損失	9	15	27	45	55	85	120	93	93	82	90	83

-9. 接続・アウトソーシング及びSI事業(既存事業)の利益推移

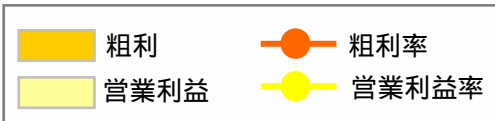
< 粗利及び粗利率の推移 >



< 営業利益及び営業利益率の推移 >



単位: 百万円



接続・アウトソーシング及びSI事業(既存事業)

◆ 粗利及び粗利率

- ・FY09粗利はインターネット接続及びアウトソーシングサービス売上の増加やコストコントロール等によりFY08比5.2%増加、粗利率は1.6ポイント向上
- ・4Q09粗利はSI売上増に伴い4Q08比 7.4%増加、3Q09比 25.9%増加、粗利率は4Q08比 0.8ポイント向上、3Q09比 0.6ポイント向上

◆ 営業利益及び営業利益率

- ・FY09営業利益は粗利増加に加えコストコントロールによる一般管理費減少等からFY08比22.0%増加、営業利益率は 1.3ポイント向上
- ・4Q09営業利益は4Q08比 28.2%増加、3Q09比 51.7%増加、営業利益率は4Q08比 1.6ポイント向上、3Q09比 1.6ポイント向上

ATM運営事業

- ◆ FY09末 ATM設置台数 計136台

	1Q08	2Q08	3Q08	4Q08	1Q09	2Q09	3Q09	4Q09
売上高	5	6	6	6	7	31	70	98
原価	15	85	161	161	192	215	277	281
販管費	58	81	83	78	49	50	56	88
費用合計	72	166	244	239	240	265	333	369
営業損失	67	160	238	233	233	234	263	270

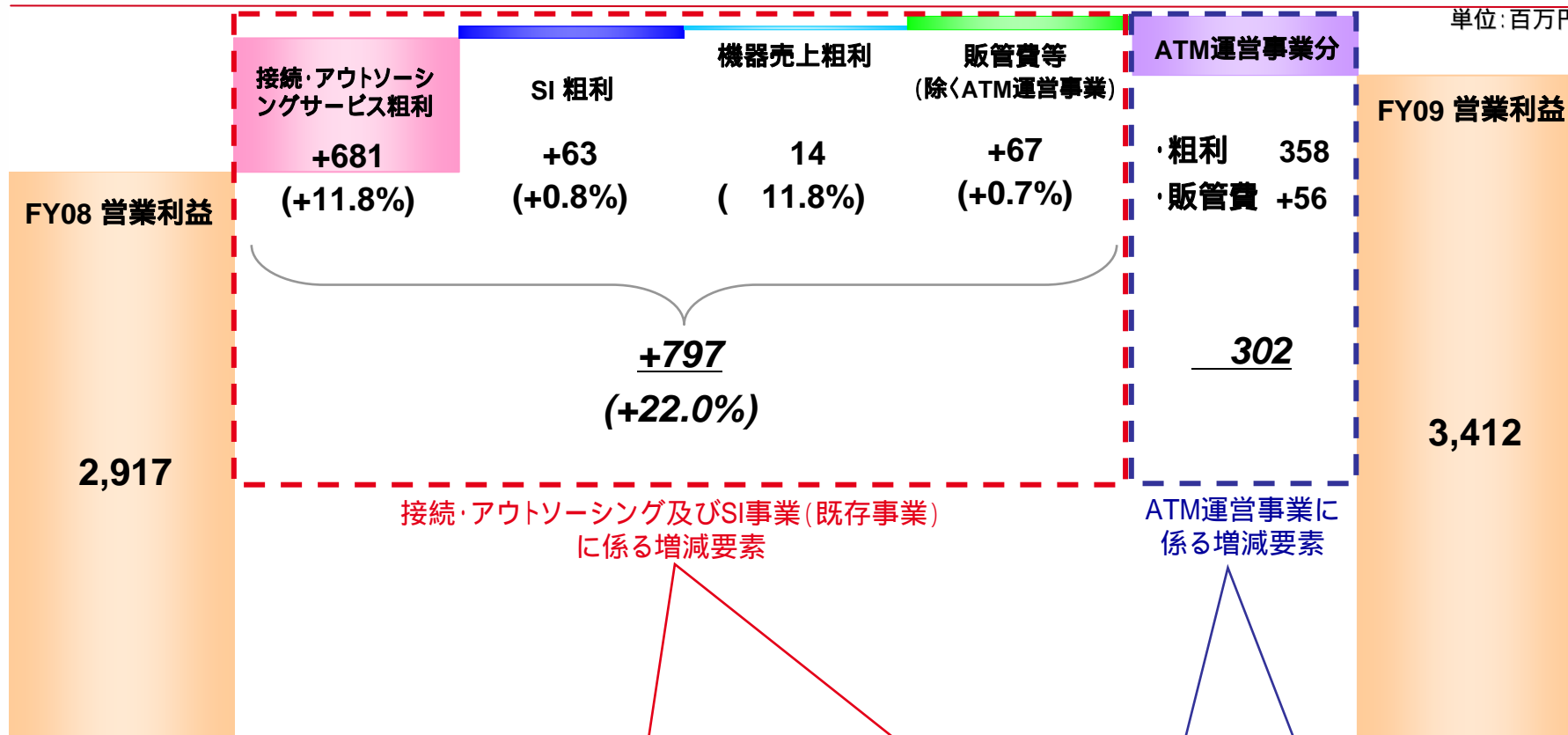
(株)トラストネットワークス

- 2007年7月設立 連結子会社
- 出資比率 73.3% (2010年4月末現在)



-10. 営業利益増減要素 (YoY)

単位: 百万円



接続・アウトソーシングサービス粗利増加 :

FY09売上は前年同期比5.4%増と継続増加、原価増加(1,216百万円増加)を吸収し粗利額は増加

SI粗利減少 :

FY09SI売上は前年同期比10.6%減少したものの、外注関連費用等の削減や仕入減少により原価が減少(3,639百万円)し粗利額は増加

機器売上粗利減少 :

売上絶対額の減少に伴い微減

販売管理費減少 (プラス効果) :

コストコントロールによる一般経費削減等により減少

ATM運営事業粗利 :

FY09 757百万円

FY08 399百万円

ATM運営事業に係る販管費 :

FY09 243百万円

FY08 299百万円

-11. 連結バランスシート(サマリー)の状況

単位: 百万円

	2010年3月末	2009年3月末	前期末比
現金及び現金同等物	8,764	10,188	1,423
売掛金	11,397	10,257	+1,140
たな卸資産	808	530	+278
前払費用	1,593	1,772	179
繰延税金資産(流動)	1,571	762	+809
その他投資	2,582	1,915	+667
有形固定資産	12,970	13,173	203
のれん及び その 無形固定資産	5,459	5,841	383
繰延税金資産(固定)	685	2,253	1,568
銀行借入(短期)	4,450	7,350	2,900
欠損金	16,720	18,549	+1,829
その他包括損失累計額	169	321	+489
当社株主に帰属する 資本合計	27,320	25,169	+2,150
総資産	51,115	52,301	1,186

主としてSI構築案件により増加

非上場株式 1,447百万円
 上場株式等売却可能有価証券
 867百万円
 出資金等 268百万円

非償却無形固定資産残高
 2,831百万円
 償却対象無形固定資産残高
 2,618百万円

短期借入金の返済により減少

FY08比増益に伴い欠損金減少

当社株主に帰属する資本比率
 (株主資本比率) 53.4%

-12. 連結キャッシュ・フローの状況

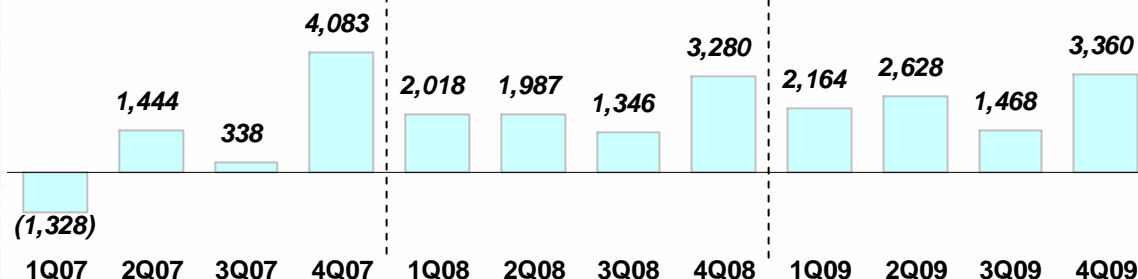
単位: 百万円

営業キャッシュ・フロー

FY07 : 4,538

FY08 : 8,631

FY09 : 9,621



(FY08比)

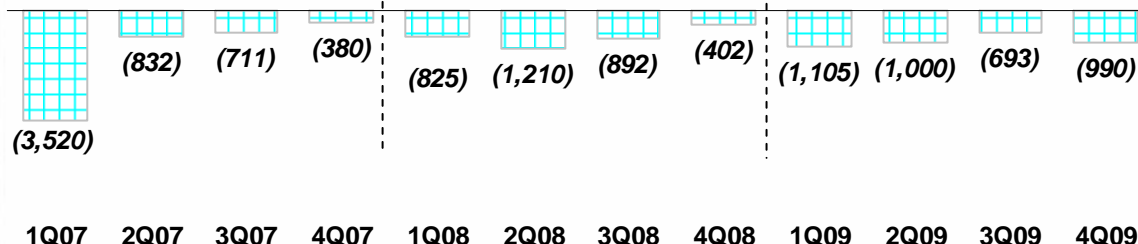
- ▶ 営業利益の計上
 - ▶ 売掛金の増加 1,179百万円
 - ▶ 買掛金及び未払金の増加 809百万円
 - ▶ たな卸資産・前払費用等の減少 486百万円
- 等

投資キャッシュ・フロー

FY07 : (5,444)

FY08 : (3,328)

FY09 : (3,788)



(FY08比)

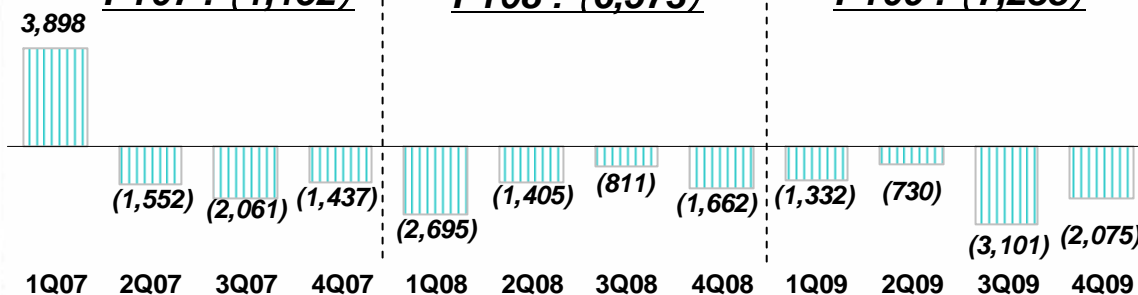
- ▶ 有形固定資産の取得による支出 3,254百万円
 - ▶ その他の投資の取得による支出 875百万円
- 等

財務キャッシュ・フロー

FY07 : (1,152)

FY08 : (6,573)

FY09 : (7,238)



(FY08比)

- ▶ キャピタルリース債務の元本返済 4,083百万円
 - ▶ 短期借入金の返済(純額) 2,900百万円
 - ▶ 配当金の支払 405百万円
- 等

-13. CAPEX・減価償却・Adjusted EBITDA の状況

CAPEX (設備投資額、キャピタルリースを含む)

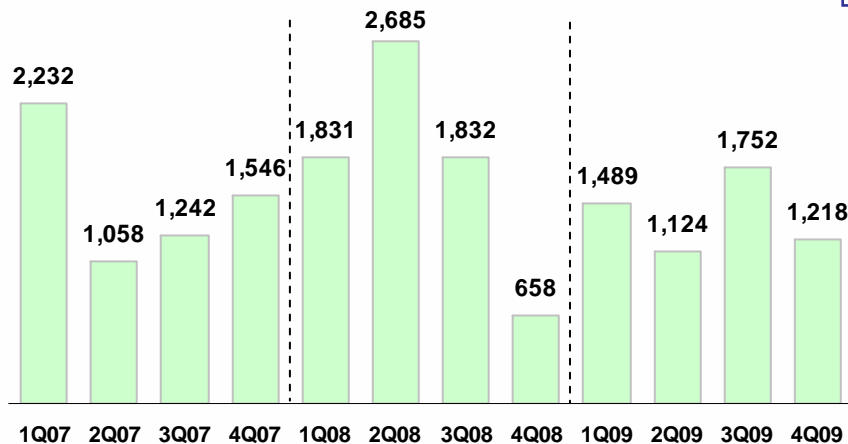
単位: 百万円

FY07 : 6,078

FY08 : 7,006

FY09 : 5,584

うち、ATM運営事業に係る
CAPEX : 297百万円

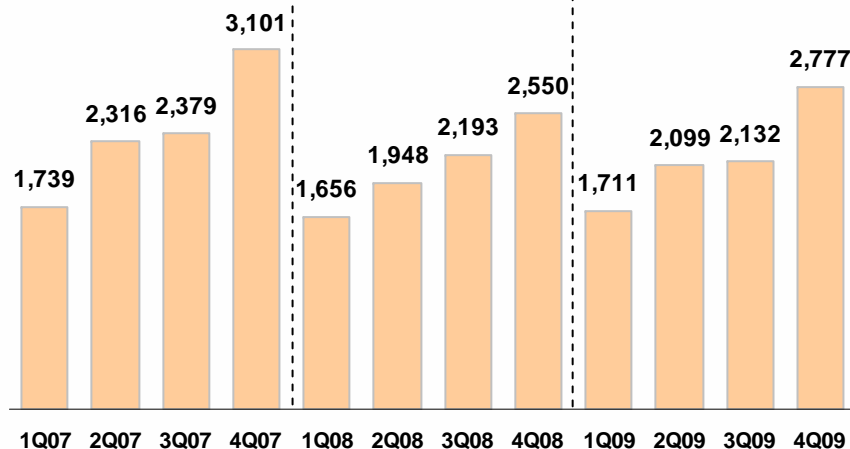


Adjusted EBITDA (償却前営業利益)

FY07 : 9,534

FY08 : 8,348

FY09 : 8,718

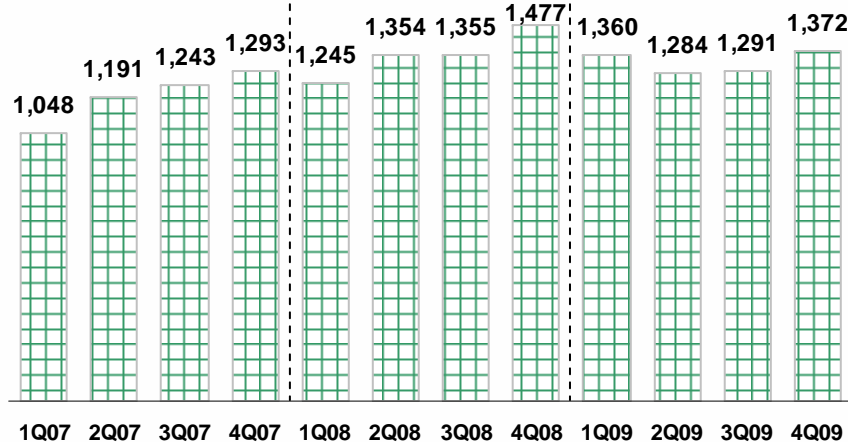


減価償却

FY07 : 4,775

FY08 : 5,431

FY09 : 5,307



2011年3月期連結業績見通し

単位:百万円

	FY10 見通し (10/4 ~ 11/3)	FY09実績 (09/4 ~ 10/3)	前年度比	
			増減額	増減率
営業収益 (売上高)	71,000	68,006	2,994	4.4%
営業利益	4,300	3,412	888	26.0%
税引前 当期純利益	3,700	2,859	841	29.4%
当社株主に帰属 する当期純利益	2,600	2,234	366	16.4%
一株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益	12,837円	11,030円	1,807円	16.4%
一株当たり 配当金	2,500円 (年間)	2,250円 (年間)	250円	11.1%

- ◆ インターネット接続及びアウトソーシングサービス売上は継続伸張と想定
- ◆ SI売上は構築売上にて需要増を見込むが、企業のシステム投資の本格復調時期が不透明なことや運用保守売上にて個別の顧客案件縮小等によるFY09末の受注残減少を鑑みFY09比減少と想定
- ◆ ATM運営事業はFY10にて営業損失4億円前後と想定、当期中の単月黒字化をターゲット
- ◆ 1株当たり配当金は、通期にて2,500円へ増配を予定 (FY09通期:2,250円)

-1. ご参考：モジュール型エコ・データセンター建設について

建設の背景

- ▶ 2010年2月よりデータセンター構築に向けた実証実験を実施
 - ・冷却システムに外気を直接利用する方式を採用したコンテナユニットによるデータセンター
 - ・クラウドサービスに求められる拡張性、低コスト、省電力化を追求
 - ・(株)東芝、(株)エヌ・エル・エム・エカル(日本軽金属グループ)、能美防災(株)、河村電器産業(株)、国際産業技術(株)の5社と共同で実験を実施
- ▶ 実証実験により有効性確認、商用化へ
 - ・Partial PUE()1.1以下の実測値を記録、通年でも目標PUE1.2まで電力利用効率を高められると判断し商用化

建設概要

Partial PUE (部分的PUE)
コンテナ利用などによる効率化を表す指標として、GreenGridにて検討中

- ▶ クラウドコンピューティングサービス「IIJ GIO」の需要に応じ段階的に増設を予定(最大20モジュール、サーバ5,000台規模)
 - ・第1期は、5モジュール(サーバ1,600台規模)を建設、2011年2月稼働開始予定、建設コスト約11億円
 - ・スケールアウトに迅速に対応する次世代型データセンター
 - ・電力会社グループ、地域自治体と連携し推進
- ▶ 「IIJ GIO」の現状ファシリティコストの40%程度削減、サービス価格競争力向上をターゲット
 - ・従来型データセンターに比べCO₂年間排出量約4,000t削減との試算
 - ・「IIJ GIO」にて、環境性能やコスト面において差別化・競争力強化を推進

モジュール外観



モジュール型エコ・データセンターイメージ図



-2. ご参考: トピックス

クラウドコンピューティングサービス「IIJ GIO」の展開

I I J G I O

- ▶ 大規模ネットワーク設備を長年安定運用してきた技術を活かし、クラウドサービス提供を通じて事業領域拡大
- ▶ サービス開始後、インターネットサービスや金融をはじめとする幅広い業種から600件を超える引き合い
- ▶ クラウドサービスで懸念されがちなセキュリティ対策を徹底強化、グローバルセキュリティ基準「PCI DSS (Payment Card Data Security Standard)」の認定を取得
- ▶ オーダーメイド型～レディメイド型クラウドサービスまでの幅広いサービスラインナップを展開
- ▶ パートナー企業との協業により、サービス拡充・拡販を積極推進

< 案件事例 >

野村証券株式会社様

証券取引基幹システムの障害時に約定データの参照や変更を行うため全国171拠点の社員が利用するシステムを構築

アスマル株式会社様

個人向けインターネット通販サイトを構築、タイムセール等のアクセス集中やリリース後のシステム構成変更等に対応

株式会社第一興商様

会員向けマーケティングツールとしてSaaS型のCRMツール「INVITO mobile」を採用、独自開発に比べ投資コストは約30%減少

文部科学省様

教職員、教育政策関係者、保護者、学校支援ボランティア等の教育関係者が様々な教育問題について議論し合うためのWebサイト「熟議カフェ」を構築(2010年4月17日開設)

モバイルデータ通信サービス「IIJ モバイル」の展開

- ▶ FY09にて着々と受注回線増加
 - ・新規端末投入やサービス拡充等により、受注回線数は約40,000回線まで増加
- ▶ M2M案件展開中、今後積極推進
 - ・高速モバイルデータ通信を活用した様々な需要が顕在化、FY10～積極推進



USB型データ通信端末
「D31HW」「120FU」

「SMFv2」に関する特許権を日米で取得 (2010年2月)













- ▶ 「SMF (SEIL Management Framework)」(2006年)
「SMF-LAN」(日:2007年、米:2009年)に続く特許取得

- ・ SMFは、ネットワーク構築時に必要な機器設定や運用管理をIIJ独自開発のルータ「SEIL(ザイル)」を使って自動化・集中管理する技術。
- ・ SMFv2はSMF技術を進化させた技術で、ハードウェアベンダーによる自社機器への組み込みや、ソフトウェアベンダー・サービスプロバイダー等様々なユーザによる機能やアプリケーション追加が可能。家電製品やクラウドサービスのサーバ設備等、より幅広い活用を実現。

-3. ご参考: グループ会社一覧

(2010年4月末現在)

	社名	出資 比率	主な事業内容
連結 子会社	 (株)ネットケア	100%	ネットワークシステムの運用監視、カスタマーサポート、コールセンター等
	 ネットチャート(株)		LAN関連を中心としたネットワーク構築等
	 IIJ America Inc.		米国でのインターネットバックボーン網の運用、インターネット接続サービスの提供等
	 (株)ハイホー		個人向けISP事業等
	 (株)IIJイノベーション インスティテュート		インターネット技術開発および インキュベーション事業等
	 (株)トラストネットワークス	73.3%	ATM・ネットワークの運営等
	 GDX Japan(株)	62.3%	メッセージ交換ネットワークサービスの提供等
持分法 適用 関連会社	 インターネットマルチフィード(株)	32%	相互接続ポイントの運営、コンテンツ配信等
	 (株)インターネットレボリューション	30%	インターネットポータルサイトの運営等
	 タイヘイコンピュータ(株)	45%	ポイント管理システムの提供等

-4. ご参考: 4Q09 主要プレスリリース一覧

		日付	項目
FY09	3Q	10/1	IIJ、「IIJマネージドファイアウォールサービス」において、IPv6に対応
		10/5	IIJグループ、新しいクラウドサービス「IIJ GIO」のラインナップを発表
		10/8	IIJとサイボウズ総研がクラウド推進のアライアンスで合意
		10/13	IIJ、「IIJセキュアWebゲートウェイサービス」のコンプライアンス機能を強化
		10/26	IIJ、「IIJセキュアMXサービス」に添付ファイル暗号化機能を追加
		10/26	IIJグループ、シトリックスとクラウド分野で協業
		10/27	IIJとマイクロソフトがクラウド向けサービスの提供に向け協業
		11/11	IIJ、NTTドコモとレイヤー2で接続開始
		11/13	平成22年3月期第2四半期連結累計期間における業績予想値と決算値との差異について
		11/13	平成22年3月期 第2四半期決算発表
		11/16	著作権保護機能を実装したFlash Videoストリーミング配信の実証実験を実施
		11/18	IIJ、「IIJマネージドVPN PROサービス」に3種類のオプション機能を追加
		11/24	IIJ、「IIJモバイル」に高速データ通信端末を追加
		11/26	IIJ、次世代のモジュール型エコ・データセンター構築に向けた実証実験を実施
		11/26	IIJ、「大規模コンテンツ配信サービス」において、IPv6による配信に対応
		12/1	IIJ・FRT、建設技術研究所の遠隔地バックアップサイトを沖縄県に構築
	12/2	IIJグループ、SaaS型のモバイル向けCRMサービス「INVITO MOBILE」を提供開始	
	12/9	IIJ、「IIJ GIO」のサービスメニュー詳細とパートナー支援プログラムを発表	
	12/16	IIJ、「LaITひかりコネク」を提供開始	
	4Q	1/19	IIJ、内閣府の意見聴取サイト「ハトミミ.com」のWebインフラをクラウドサービスで構築
1/26		IIJ、「IIJポストオフィスサービス」において送信ドメイン認証技術「DKIM」に対応	
1/28		IIJ、IIJモバイルサービス/タイプD対応の業務用PDAを提供開始	
2/4		連結子会社の吸収合併(簡易合併・略式合併)に関するお知らせ	
2/12		平成22年3月期 第3四半期決算発表	
3/4		役員体制の変更および執行役員制度導入に関するお知らせ	
3/23		IIJ-Tech、自社のクラウドサービスにおいてセキュリティ対策基準「PCI DSS」の認定を取得	
FY10	1Q	4/8	IIJ、「SMFv2」に関する特許権を日米で取得
		4/12	IIJ、「IIJサーバ証明書管理サービス」に新品目を追加
		5/12	イーシー・ワンとIIJ、クラウド分野において協業

事業等のリスク

本資料には、1995年米国民事訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)の「セーフハーバー」規定に定義する「将来性の見通しに関する記述(forward looking statements)」に該当する情報が記載されています。本資料の記載のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来の見通しに関する記述に該当します。将来の見通しに関する記述は、現在入手可能な情報に基づく当社グループまたは当社の経営陣の仮定及び判断に基づくものであり、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しています。また、今後の当社グループまたは当社の事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、これらの記述または仮定は、将来実現しない可能性があります。現時点において想定しうる当社グループの主なリスク及び不確実性として、

- 1) 国内景気の低迷、経済情勢の変化等による企業のシステム投資及び支出意欲の低下、
- 2) サービスの中断等による当社グループのサービスへの信頼性の低下及び事業機会の逸失、
- 3) ネットワーク関連費用、外注費、人件費等、費用規模の想定を超える増加、
- 4) 競合他社との競争及び価格競争の進展、
- 5) 投資有価証券、営業権等ののれん資産の価値変動及び実現、
- 6) 税効果会計による法人税等調整額の規模及び実現時期の変動

等がありますが、これら及びその他のリスク及び不確実性については、当社グループまたは当社が、1934年米国証券取引法(Securities Exchange Act of 1934)に基づき米国証券取引委員会に届出し開示している英文年次報告書(Form 20-F)及びその他の書類をご参照下さい。

お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ (財務部)

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-105 神保町三井ビルディング

TEL: 03-5259-6500 FAX: 03-5259-6311 URL: <http://www.ij.ad.jp/IR> E-Mail: ir@ij.ad.jp



Internet Initiative Japan